

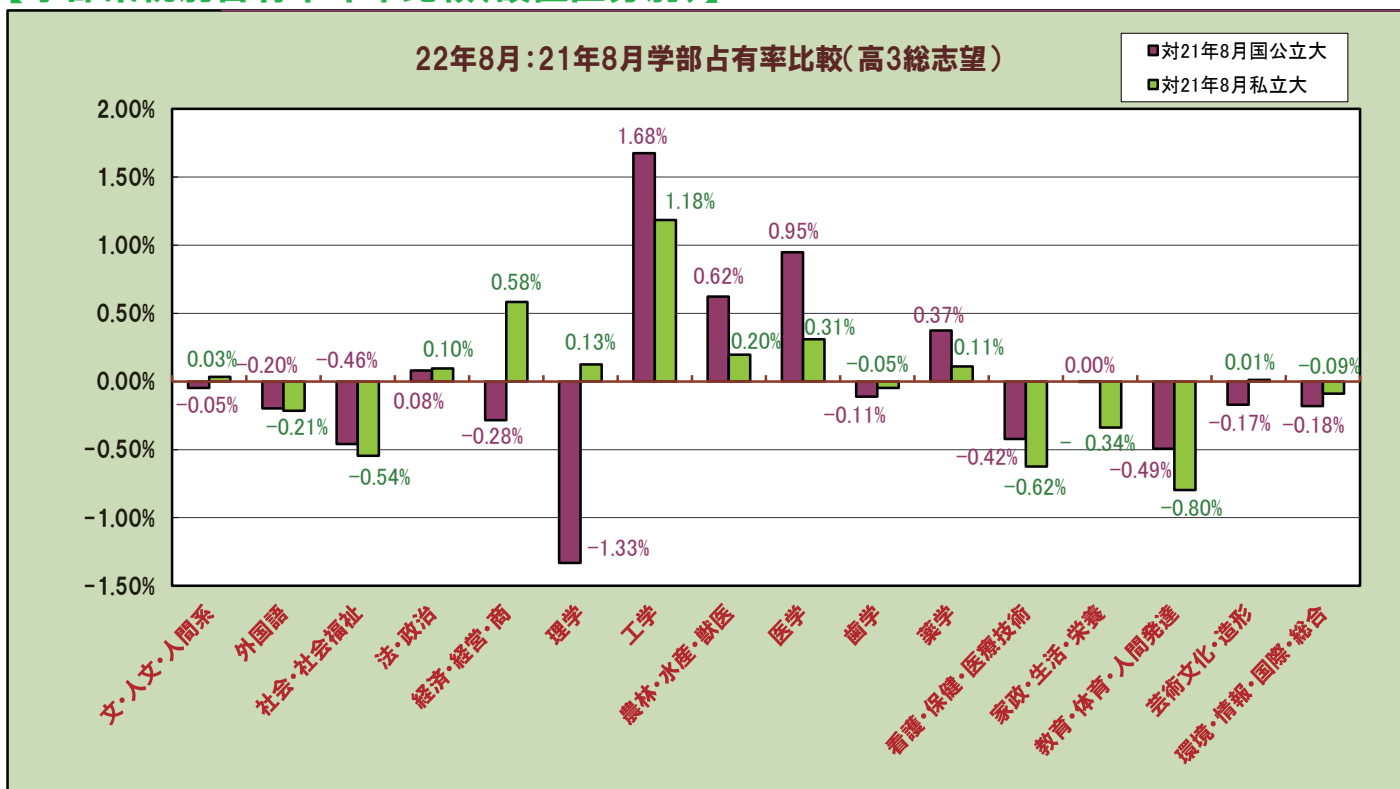
第3回 8月 共通テスト本番レベル模試

実りの秋に向けて、夏の学習を しっかりと振り返ろう！

8月21日（日）に実施した「第3回 8月 共通テスト本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期の高3生の志望動向と比較した。

この夏と同様、コロナ禍の中で勝負の夏を過ごした先輩たちは、大学で何を学ぼうと志し、大学選びをしていたのだろうか。各大学から入試要項は公表されているが、今後の状況によっては内容に変更が生じる可能性もある。その場合、大学ホームページでの告知となるので、志望大学の入試情報はこまめにチェックしつつ、受験勉強を進めていくようにしましょう。

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	95	97	96
外国語	80	85	84
社会・社会福祉	90	98	97
法・政治	102	106	105
経済・経営・商	99	102	101
理学	101	106	103
工学	100	106	103
農林・水産・獣医	105	111	107
医学	113	117	114
歯学	94	86	91
薬学	112	104	107
看護・保健・医療技術	94	88	90
家政・生活・栄養	104	81	88
教育・体育・人間発達	92	87	89
芸術文化・造形	84	86	88
環境・情報・国際・総合	105	100	99

■国公立大

全体的な傾向としては2022年度入試の志望動向から大きな変化は見られない。

理系では医学、薬学、農林・水産・獣医系が人気で、文系は法・政治系の人気が強調。

外国語系は依然として志望者が戻ってきておらず、志望者を集めている環境・情報・国際・総合系も人気があるのは情報科学系(指数118)で、国際系(指数86)もまだ復調傾向とは言えない状況である。

■私立大

一部の学部系統を除き、国公立大と同様の志望動向となっており、全体的には文低理高が継続している。

環境・情報・国際・総合系は、国際系は指数98と、国公立大よりは人気の復調傾向が見られる。

※このデータは、2022年と2021年の「第3回 8月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分(国公立・私立)ごとに学部系統別の総志望者数(統一実施日受験の高3生・第6志望まで)から算出した割合を比較したものである。